

みやざき 芸術文化協

第 125 号 令和 6 年 9 月 27 日 発行

題字：黒木淳吉

〈目 次〉

令和 6 年度事業計画……………	2
「アーツカウンシルみやざき」の事業…	3
会員・役員等名簿……………	4
会員だより……………	5
みやざき文化振興課の文化事業…	6
ひなたの文化活動推進事業…………	7

ホームページアドレス <http://www.miyazakigeibun.jp> メールアドレス geibunky@miyazakigeibun.jp

た。熊本から小林市へ移住して、いつの間にか半世紀が過ぎた。熊本の高校で自転車通学をしていた私は、市内の繁華街を通る度、当時車の「排気ガス規制」が施行されていない



小林に想う

宮崎県芸術文化協会 副会長
（小林市文化連盟 会長）

園村 正晴



霧島連山夕景：夷守岳・韓国岳・高千穂の峰など（写真提供：菟部樹生）

濁りきった街の空気にうんざりしていた。

その後、仕事の採用地が宮崎県小林市と決まった。

家族も友人の誰も知らない、列車で訪れた小林市はまさに未知との遭遇の地であった。しかし、住んでみると空気の綺麗さ、水の美味さ、星の輝きと近さ、薩摩弁なのか日向弁なのかまるで解らない小林の方言も慣れるにつれ親しみ、人の良さも充分に伝わった。

『宮崎県風土記』によると、この地は古代、「夷守」と呼ばれ、その後、「みやま」（三山、三ツ山とも）から小林へ称されるようになった、とある。

みやまは韓国岳、高千穂の峰、夷守岳を指しており、霧島連山の自然と風土と噴火の歴史の中で育まれた先人達の知恵や祈りを感じとれる。西諸県地方に多く見られる「田の神さあ」も多くは霧島連山へ顔を向けており、山の怒りの収まりを願ったのであろう。

昨今、高齢化や少子化が社会問題視されるが、三年ほどの空白をもたらしたコロナ禍がいつそうの拍車をかけた元凶と思える。

「人々の生き死に」が係わるとき、文化やスポーツは弾き飛ばされるものと思われられたし、人と話すな、集まるな、孤独優先の風潮が社会生活に与えたネガティブな影響は計り知れない。

小林市文化連盟傘下の組織人員もこの五年間で二五〇名ほど減少した。「消滅可能性」自治体なるものも、またぞる復活してきたがやはり、構えや手立てが必要と考える。

今後、①広域での活動の進め方、②指導者の複数体制、③学校教育分野との連携など模索していきたい。

「文化の力」を信じ、一歩ずつ辛抱強く！

令和六年度事業計画

1 「令和六年度芸文協助成事業」

の実施（予算額一〇〇万円）

県民の芸術文化活動を奨励・援助するため、芸術文化団体の活動に対して助成を行う。

(1)助成対象事業

この助成金の交付対象となる活動は、宮崎県内に所在している芸術文化団体の事業とする。

(2)募集団体数

一〇団体程度

(3)助成額

事業費の二分の一以内、一〇万円を限度とする。

2 「令和六年度県民芸術祭（助成事業分）」の実施（予算額四〇〇万円）

(1)目的

実施主体である文化団体が日頃の研鑽の成果を広く県民に発表する等により、県民の文化創造や文化意識の高揚を促し、本県芸術文化の振興を図る。

(2)内容

実施希望団体に対するヒアリングを実施した上で、申請のあった団体について、事業内容や実施時期等を審査し、適当と認

められる事業を採択する。

なお、もっぱら周年的な事業や記念的事業、先進性のある事業を採択する。

(3)採択

事業採択の可否を判断するため、県民芸術祭運営委員会を開催する。

3 「第二七回みやざき文学賞」の実施

公募による文芸作品の発表及び顕彰の機会拡大を図るため、「第二七回みやざき文学賞」を実施し、本県芸術文化の振興に資する。

実施に必要な事項は、運営委員会を設置し検討する。

なお、この事業は宮崎県の支援を受けて、平成一〇年度の創設以来、本県における文芸の向上と普及を目指して「県民芸術祭」の一環として継続的に実施しているものである。

(1)作品募集

小説・随筆・詩・短歌・俳句・川柳の六部門

(2)作品受付

令和六年八月一日(木)～九月六日(金)

(3)応募資格

県内在住者。県内在勤者・学者を含む。職業作家は除く。

(4)審査・表彰

審査委員による審査を行い、入賞・入選者を決定し表彰する。

表彰式は令和七年二月一八日(火)の実施を予定。

(5)作品集発行

作品集「みやざきの文学」を発行し、入賞・入選作品等を掲載し、広く関係機関・団体等に配付する。希望者に有料頒布する。

発行部数：五〇〇冊

4 広げよう文化の輪推進事業（旧ひなたの文化活動推進事業）の実施（県からの受託事業 予算額五〇〇万円）

令和五年六月に策定したみやざき文化振興計画（以下「計画」という。）における重点視点「文化の裾野の拡大」又は「様々な分野（福祉や観光など）との連携」を図る文化活動への助成を行う。

申請前から事業実施、報告書の作成までアーツカウンシルによる伴走型支援を行い、採択時の評価結果を補助率に反映させることで、事業効果を高める。

5 文化のよろず支援事業（旧アーツカウンシルみやざき機能拡充事業）（県からの受託事業）

県内の文化活動の支援機関として設置した文化芸術の専門人材による「アーツカウンシルみやざき」は、常勤二名で体制強化を図られたことから、令和六年度においては、現場と行政をつなぐ専門機関として、文化団体からの相談対応や各種研修事業、助成事業の助言・評価などを適宜適切に行いながら、本県文化力の向上と魅力ある地域作りにつなげる。

6 各種事業の後援等

申請に基づき、芸文協会員等が実施する芸術文化事業について名義後援を行う。

7 第三四回公益財団法人宮崎県芸術文化協会「芸術文化賞」の授賞

芸文協の加盟団体または加盟団体に所属する個人、その他適当と認める団体又は個人で、顕著な芸術文化活動を行った団体、個人の顕彰を目的に、芸術文化賞を授賞する。

①部門 芸術文化賞、芸術文化奨励賞（いずれも個人・団体）

②推薦 加盟団体

③授賞式 令和六年度中の通常理事会開催日に実施（二二月を予定）

8 会報「みやざき芸文協」第二二五号、第一二六号の発行

芸文協及び芸文協会員の活動状況等を適時適切に記録するとともに、芸術文化活動の促進に関する情報を会員並びに県民に周知する広報資料とする。

- (1) 体 裁 A4判 八ページ
- (2) 発行部数 一、四〇〇部
- (3) 発行時期 本年度は九月及び三月

9 「宮崎県文化年鑑2024」の発行（第五〇号）

本県内の主な芸術文化活動の状況等を記録し、現在及び将来の本県文化振興の資料とする。

- (1) 体 裁 A5判 約一八〇ページ
 - (2) 発行部数 四〇〇部
 - (3) 発行時期 本年一二月頃
- ### 10 加盟団体等に対する支援、文化団体の育成等

- (1) 加盟団体は、コロナ禍等により活動力の低下・組織の弱体化がみられることから、アーツカウンシルみやざきの機能を活かし、各団体へのヒアリング・助言等を実施し、組織力や活動力の強化に向けた取組を促す。
- (2) 芸術文化団体の加入や賛助会員獲得に向け、関係機関・

- 団体との連携強化を進める。
 - (3) その他文化団体育成のために必要な取組を適宜実施する。
- ### 11 芸文協運営のための会議

- ① 理事会、② 評議員会、③ 専門委員会（総務財政専門委員会）、④ 会員（加盟団体）代表者会議ほか

令和六年度 アーツカウンシルみやざきの事業について

- ### 1 文化芸術活動の支援（相談、アドバイス、ブラッシュアップ、マッチング）

コロナ禍が終わり、国文祭の開催から四年が経ちます。文化芸術活動は以前より盛んになりましたが、高齢化、少子化、資金獲得の難しさなど、課題は未だ解消されないままです。アーツカウンシルネットワークを始め、全国からの情報収集を行い、各主催者が抱える課題に対しての相談対応、アドバイスを様々な事例を通して実施していきます。

- ### 2 文化団体相互及び他分野との交流連携の促進

アーツカウンシルみやざきは、宮崎県の文化芸術の専門機関として、県内の文化芸術活動の現状や

課題を把握しておく必要があります。ただ県域全体への訪問や相談会の開催は難しいため、県内各地の文化芸術活動の主催者とのネットワーク形成を行います。このネットワークは情報収集だけではなく、研修や講座の要素をもたせることで、文化芸術関係者の質的向上を図ります。

- ### 3 各種研修事業の実施

これまでは、アートマネジメント講座や、短歌みやざき事業に関する短歌講座を実施してきましたが、コロナ禍以降、講座への参加者は激減し、オンライン開催が前提と思われる傾向があります。また議論が避けられる傾向があり、それぞれの興味関心や現場への対応力につながるレクチャーが求められています。これらのことを踏まえ、日常的に学ぶ機会や、規模かつ定期的に開催される議論の場の提供を予定しております。

- ### 4 助成事業の助言・評価

これまで通り、各助成事業の事前相談の対応と、採択団体向けのキックオフミーティングの開催を行います。助成先にあたっては、都市部中心だけでなく、山間部や遠隔地への助成や文化芸術活動のサポートを行っていきます。また県内の文化芸術活動の全国発信

についても大局的に取り組んでいきます。

- ### 5 情報発信

SNSをはじめメディアの多様化をうけて、どの媒体にどれだけの情報発信を行えばいいのかわからなくなり、主催者の負担となつていきます。アーツカウンシルみやざきのホームページやSNSを活用し、宮崎県内だけでなく全国に発信すること、また地域間ネットワークを通じて、団体間の連携を促進し、各ジャンルの中での情報交換が行われる環境を整備していきます。

- ### 6 新たな事業の提案（調査・研究及び政策提言）

アーツカウンシルみやざきは設立から五年目を迎えます。コロナ禍、国文祭・芸文祭、条例・計画の施行と様々なことがありました。今年度はこれらの状況を調査等で現状把握を行い、これからの宮崎の文化芸術のための提言を行っていききたいと思います。



公益財団法人宮崎県芸術文化協会会員・賛助会員・役員等

会 員 <small>40 団体 順不同 (令和 6 年 8 月 1 日現在)</small>			
団 体 名	代 表 者 名	団 体 名	代 表 者 名
宮 崎 県 歌 人 協 会	杉 田 一 成	宮 崎 県 吟 剣 詩 舞 道 総 連 盟	松 川 岳 匠
宮 崎 県 俳 句 協 会	服 部 修 一	日 本 郷 土 民 謡 協 会 宮 崎 県 支 部 ・ 洲 明 会	小 淵 洲 明 女
みやざきエッセイスト・クラブ	福 田 稔	村 上 三 弦 道	村 上 由 宇 月
宮 崎 県 現 代 川 柳 協 会	間 瀬 田 紋 章	琴 伝 流 大 正 琴 宮 崎 支 部	真 木 妙 子
ひ む か か る た 協 会	梅 津 顕 一 郎	宮 崎 県 華 道 協 和 会	谷 口 穂 苑
宮 崎 県 美 術 協 会	山 本 祐 嗣	芽 桜 流 宮 崎 県 本 部	芽 桜 寿 千 代
宮 崎 県 美 術 連 盟	園 田 博 一	宮 崎 県 太 鼓 連 合	池 田 靖 洋
宮 崎 県 書 道 協 会	安 藤 廣	宮 崎 市 芸 術 文 化 連 盟	八 代 正 輝
宮 崎 県 音 楽 協 会	島 津 陽 亮	延 岡 市 文 化 連 盟	松 田 和 己
宮 崎 交 響 楽 団	河 口 安 伯	日 南 市 文 化 芸 術 協 会	田 原 宣 輝
宮 崎 県 ア マ チ ュ ア オ ー ケ ス ト ラ 連 盟	岩 切 敏	小 林 市 文 化 連 盟	園 村 正 晴
宮 崎 県 吹 奏 楽 連 盟	櫻 井 和 也	日 向 市 文 化 連 盟	花 柳 絹 太
みやざきチェロ協会	土 田 浩	串 間 市 文 化 協 会	山 内 学
宮 崎 県 合 唱 連 盟	中 園 哲 也	西 都 市 文 化 連 盟	清 野 憲 一
宮 崎 県 お か あ さ ん コ ー ラ ス 連 盟	安 藤 真 奈 美	え び の 市 芸 術 文 化 協 会	上 水 正 喜
宮 崎 県 オ ペ ラ 協 会	泊 か ず よ	国 富 町 文 化 協 会	橋 本 知 恵
宮 崎 県 バ レ エ ユ ニ オ ン	伊 達 由 伺 子	高 鍋 町 文 化 協 会	田 中 隆 吉
宮 崎 県 演 劇 協 会	濱 田 明 良	門 川 町 文 化 協 会	水 永 光 彦
宮 崎 県 川 南 町 モ ー ツ ァ ル ト 音 楽 祭 実 行 委 員 会	多 賀 学 昭	諸 塚 村 文 化 協 会	松 本 久 義
都 山 流 宮 崎 県 支 部	熊 元 城 芳 山	高 千 穂 町 文 化 協 会	興 梶 則 夫

役 員 (令和 6 年 6 月 13 日現在)

顧 問	内 藤 泰 夫			
会 長	岩 切 裕 敏			
副 会 長	熊 元 一 徳	園 村 正 晴	中 村 禎 子	
常 務 理 事	横 山 直 樹			
理 事	河 口 安 伯	黒 木 朋 子	田 中 隆 吉	
	土 田 浩	二 宮 勝 憲	島 山 利 枝	
評 議 員	松 田 和 己	八 代 正 輝	山 内 学	
	岩 切 義 弘	田 上 比 呂 美	中 馬 章 一	
	濱 田 倫 紀	肥 田 潤 子	福 田 稔	
監 事	山 本 祐 嗣			
	永 野 貴 士	吉 村 久 美 子		

賛 助 会 員

次の団体様に賛助会員としてご支援いただいております。

(団 体)

NHK宮崎放送局 様
 MRT宮崎放送 様
 UMKテレビ宮崎 様
 宮崎ケーブルテレビ 様
 九州電力宮崎支社 様
 宮崎県音響照明舞台事業協同組合 様

会員だより

宮崎大好きっ子を【ひむかかると】で育む

ひむかかると協会

会長 梅津 顕一郎



皆さんは宮崎県についての「ことば」をどれだけ思いつきますか？ 地鶏、冷や汁、マン

ゴー……その他は……案外、ことばが出てこないのではないのでしょうか？

そして、それはひよとしてテレビやインターネットなどで、東京や大阪の情報ばかりに目がいつているからかもしれません。

ことばの数が少ないものに人間は関心を持たなくなっています。つまりそれは、ふるさと宮崎への愛着や地元意識、誇りを失うことでもあります。

そこで、私たちひむかかるとの協会は、宮崎の皆さんととりわけ宮崎の未来を担う子どもたちが、ふるさとを



大好きになってもらうためのお手伝いができないか考えました。そうして作られたのが、郷土「みやざき」の様々なことを綴ったかるた「ひむかかると」です。かるたあそびを楽しむ中で、子どもの中から地域の文化や歴史を学び、ふるさとへの愛着を持ってもらう。そして、それが「おらが宮崎」のスピリットを私たちの心の中に刻んでいく。そんなサイクルを創っていくことを私たちは目指しています。

さて、そんな協会活動をスタートして一二年経ちましたが、おかげさまで本当に多くの子ども達にこれまでひむかかるとで遊んでいただきました。（立ち上げ当初は小学生だけを対象にしていましたが、

今や幼稚園・保育園の子ども達にも遊んでもらっています。）また、毎年開催しているひむかかるとの大会には、運営スタッフとして、かつての大会参加者だった中学生や高校生、

大学生が読み札の読み手や審判をやってくれています。

本場に少しずつですが、着実にひむかかるとを通して「みやざき大好きっ子」を育てている実感があります。

あまり目立たない活動ですが、これからも地道に活動していきたいと思えます。

ごあいさつ

宮崎県総合政策部
みやざき文化振興課長

堀 尚子



県芸文協会員の皆様方におかれましては、日頃より本県文化芸術の発展・向上のため、様々な分野で御協力いただき、深く感謝申し上げます。

また、貴協会におかれましては、芸術文化賞をはじめ、「みやざき文化賞」や「県民芸術祭」など、様々な文化芸術事業を展開され、本県の文化振興の中核的な役割を担っていただいております。重ねて感謝申し上げます。

さて、県では、文化芸術の専門機

関として令和元年度に「アーツカウンシルみやざき」を芸文協内に設置しました。アーツカウンシルみやざきはこれまで、文化芸術活動の支援の実績を着実に積み重ね、令和五年度は年間で約二〇〇件の相談に対応したほか、宮崎県総合文化公園での「みやざきみんなート二〇二三」や俳優の星野真里さんをゲスト歌人に招いた「星野真里と、旅する短歌」を開催するなど、本県の文化力の向上に大きな成果をあげていただいております。

また、県では、昨年六月に策定した「みやざき文化振興計画」に基づき、芸文協と連携しながら、「文化の裾野の拡大」と「様々な分野との連携の推進」に引き続き取り組んでまいります。

さらに、令和七年度に開催される大阪・関西万博においては、本県の「玉」である神楽をはじめとする本県ならではの文化資源の魅力を世界発信し、観光誘客や地域活性化につなげていきたいと考えております。

最後になりますが、今後も、県民の皆様の心にゆとりと潤いを与え、一人ひとりが生き生きと暮らすことのできる活力ある地域社会を実現するため、文化振興の取組を進めてまいりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

みやざき文化振興課の文化事業を紹介します

神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組

日向神話や神楽などの宮崎ならではの文化資源を次世代に継承し、今後の人づくりや地域づくりにつなげるとともに、世界に誇る「神楽」のユネスコ無形文化遺産への早期登録を目指して取り組んでいます。

○主な取組

- ①国立能楽堂（東京都）での神楽公演
首都圏在住の方に神楽の魅力を知っていただくことを目的に平成28年度から実施。
- ②みやざきの神楽サポーター制度（企業等）の実施
神楽の継承活動を支援する企業、団体、大学等を「みやざきの神楽サポーター」として認定し、その活動を広報。



国立能楽堂神楽公演



みやざきの神楽サポーター
認定証交付式

神話のふるさと県民大学
受講者募集中



障がい者芸術文化支援センターの設置

障がい者の芸術文化活動を支援する地域の拠点として、「宮崎県障がい者芸術文化支援センター」を設置し、芸術文化活動を行う障がいのある人やその家族、障害福祉サービス事業所等に対する相談支援、人材の育成、支援体制の整備等に取り組んでいます。

○センターの主な活動

- ①相談支援
障がいのある人やその家族、支援員などの相談を受け、専門機関へつなぐ中間支援を実施。
- ②人材育成
芸術活動のサポート研修会、視覚障がいのある人と行う対話型鑑賞会、アートに関する権利を学ぶセミナーなどを開催し、障がい者の芸術活動に携わる人材を育成。
- ③発表の機会の創出
県立美術館、街中のギャラリーやカフェ等で作品展やワークショップを開催し、地域の人にも触れあう機会を創出。



アート活動ワークショップ



対話型鑑賞会

メディキット県民文化センター大規模改修

工事の様子を県議会総務政策常任委員会の皆様に視察いただきました。（令和6年7月17日）



ひなたの文化活動 推進事業について

三年前に始まった「ひなたの文化活動推進事業」。今年度は、過去最多の三七事業の申請があり、小林市や椎葉村をはじめ県内各地で実施される一二事業が採択されました。この事業はこれまでの文化芸術活動から視点を変えて、国文祭・芸文祭から活動の幅を広げる取組、観光、福祉、教育など、他分野と連携した取組や社会課題に向き合う事業を助成対象としており、単なる発表会や講演会ではなく、社会に対して開いていく活動が求められています。一見難しそうですが、文化単体ではなく、多分野と連携することによって、「文化ごと」がやりやすくなったというメリットもあるのかもしれない。

今年度の採択事業は、Uターンや県外からの移住者、若い世代が多く見られることも特徴的です。文化芸術で、人口減少や観光産業の人手不足といった地方課題と向き合い、中山間地域の伝統芸能が衰退の一途を辿る中、地元との繋がりを作ることで出来るのは伝統芸能と捉え、都市部で事業を実施するなど、「地域のために、文化芸術で新しい挑戦をし

たい」という強い意気込みを感じます。「手段」としての文化芸術の意義を多くの方に体感していただけるきっかけになれば幸いです。

今まで文化芸術活動に御尽力されてきた皆さまの思い、従来の文化芸術の意義を尊重しつつ「ひなたの文化活動推進事業」を通して、県内で新しい取り組みが生まれることを期待しております。

「ひなたの文化活動推進事業」は、現在、県内各地で展開されておりますので、採択事業一覧を参考に、ぜひ、多くの会場へ足をお運び下さい。気になる事業がありましたら、「アーツカウンシルみやざき」まで、気軽にお問い合わせください。

「ひなたの文化活動推進事業」採択事業一覧（※日程・場所は都合により一部変更になる可能性があります。）

- 〇 〇 〇 〇 〇 〇 Tenande
音楽会 (Music ゆなとと
【TSUBASAJ】
一二月二二日 (日) 小林市文化
会館エントランスホール【小林
市】
○ 文化を楽しむLife Hack (ライ
フハック) ~ 3Dプリンタを活
用した日常生活の豊かさを生み
出す事業 ~ (FabLab Miyazaki

8 (ファブラボミヤザキベ
タ))
講座1..九月二九日 (日) 講
座2..一〇月一三日 (土) 一
四日 (日) 復習・機材講座:
一二月四日 (月)、一二月一五
日 (日)、令和七年二月一日
(日) (予定) FabLab Miyazaki
8等【宮崎市】

○ 循環型社会を自分ゴト化する体
験型サステイナブルアートイベ
ントの開催 (合同会社ツクレ
タ) 令和七年一月一九日 (日)
宮交シティ紫陽花ホール【宮崎
市】

○ WET SATURDAY MUSIC
FESTIVAL (WET
SATURDAY実行委員会)
講座1..九月二五日 (水) 一
六日 (木) 講座2..一〇月中
(予定) 野外フェス..一二月三
日 (日) 法華嶽公園ふれあい広
場他【国富町】

○ It meets/ Zine it x MEGANE
ROCK Park 2024 (メガネロッ
ク)
一二月二四日 (日) LIVEはー
く Actors Square Coffee 恋
史郎ローヒー他【宮崎市】
○ BAMBOO ART MIYAZAKI
(BAMBOO PROJECT)
一〇月八日 (火) ~ 二〇日 (日)

○ 牧水公園【日向市東郷町】

○ 野外音楽フェス山麓 (さんろ
く) 2024の開催
九月二二日 (日) 一五時~二
一時 NISHIMORO FOREST
PARK【小林市】

○ 高千穂郷土かるた「高千穂い
つちやがるた」作成 (高千穂
郷土かるた協会)
六月一五日~令和七年二月二八
日【高千穂町内】

○ アーツなココロみ びじゅ
つ室 えほんをつくるう
(Createfields合同会社)
ワークショップ..七月末~一〇
月中 完成発表会..一二月三
日 (日) (予定) サンアピリ
ティーズ都城研修室他 (予定)

【都城市】
○ 県内博物館施設等の来場者数拡
大を目的とした、施設情報や訪
問コンテンツを楽しむための県
内全域博物館マップWebサイト
構築事業 (株式会社ミュージア
ムビック)

七月五日~令和七年一月三二日
【宮崎市を拠点に県全域】
○ 特別展示・ワークショップ「山
の面・海の面~祈る化身のカタ
チ」(井上玉光)
一〇月下旬頃~一月初旬 (予
定) 宮崎県立総合博物館 民家

園「椎葉の民家」【宮崎市】

○秘境椎葉村で民俗学者・柳田男を追体験！「笹の峠」を越える民俗学ツアー（森内こゆき）
六月一五日〜令和七年二月一五日
日 笹の峠【椎葉村・美郷町】



編集後記

令和六年は穏やかな元旦を迎えたが、一六時一〇分に能登半島地震が発生、マグニチュード七・六を記録し、八月時点で死者三四一人、全壊家屋六二七三棟と甚大な被害をもたらした。復旧作業はまだ始まったばかりである。

また、早くも六月中旬に関東で猛暑日を観測し、その後四〇度前後の危険な暑さが全国的に相次ぎ、太宰

府市では猛暑日年間最多記録を更新し、九月九日現在五〇日を突破した。気象庁は昨年に続き異常気象と判断しても差しつかえないとしている。

宮崎では、八月八日一六時四二分に日向灘地震が発生、マグニチュード七・一を記録し気象庁では「南海トラフ地震臨時情報」を初めて発表し、新たな大規模地震が危惧された。また、台風一〇号がゆっくりした速度で北上、八月二十九日に九三五

h pの大きな勢力で薩摩川内市に上陸、九州を横断した。宮崎では大雨や竜巻、突風に見まれ、ケガ人三人、住宅被害八八〇棟と甚大な被害となった。

災害はいつどこで起こるか本当にわからない。

さて、芸術文化活動はコロナが五類に移行された後、徐々に活発になってきているが、令和五年に策定された「みやざき文化振興計画」により、さらに活動が活発になり、県民の皆様の心の拠り所になると確信しているところである。（猪鹿倉 潔）

ワクワク、ドキドキ、そしてフルエル

ひなたの文化活動推進事業

2024

ひなたの文化活動推進事業のプログラムについて詳しくはこちらをご覧ください

アーツカウンシルみやざき
公益財団法人 宮崎県芸術文化協会

ひなたの文化活動推進事業 実施要項

- 趣旨**
高橋圭介氏による文化活動の推進を目的として、企画・運営する文化活動の拡大に資する取組を支援し、県内の文化活動の活性化を図る。
- 事業の実施主体**
本事業の実施主体は、県内で文化活動を行う団体及び個人（以下「文化団体等」という。）とする。
- 事業の内容**
次のいずれかに該当するもので、文化活動の拡大に資するもの。
①文化の享受者の拡大に資する能力的な創造取組を行う取組
②文化の力を生かして社会課題に向き合う取組（文化と他分野が連携した取組）
③実用性・普及性を高める取組
④その他（令和3年度に本事業で実施された取組・取組みやざき2020により生まれたつながりや成果を生かした取組等）
- 補助率等**
10/10以内で5(1)に規定する規程において定めた補助率を下らないこと。（取組費原則50万円）
- 事業の選定**
①ひなたの文化活動推進事業補助金交付要綱（以下「交付要綱」という。）により実施事業を絞り、ひなたの文化活動推進事業選定委員会において審議し決定する。
②委員会が公益財団法人宮崎県芸術文化協会の会長（以下「会長」とする。）、副会長、常務理事を以て構成する。
③第1号の審議に当たっては、必要に応じて、外部意見を要請し、当該意見に意見を求めることができるものとする。
- 補助金の交付及び実績報告**
交付要綱に定めの手続きを行うものとする。
- その他**
事業の実施に必要な事項は会長が定める。

アーツカウンシルみやざき
公益財団法人 宮崎県芸術文化協会
〒880-0804 宮崎県宮崎市宮田町3-46 県庁9号館3階
TEL. 0985-31-2780 FAX. 0985-31-2782

みやざき芸文協 第125号
令和6年9月27日発行

編集・発行
公益財団法人 宮崎県芸術文化協会
〒880-0804
宮崎市宮田町3番46号 県庁9号館
TEL 0985-31-2780 FAX 0985-31-2782
<https://www.miyazakigeibun.jp/deliverables/>
こちらのQRコードからもご覧いただけます

印刷所 鉦脈社

